

【資料紹介】

記念センター所蔵寄贈資料目録⑩

愛知大学東亜同文書院大学記念センター研究員 武井 義和

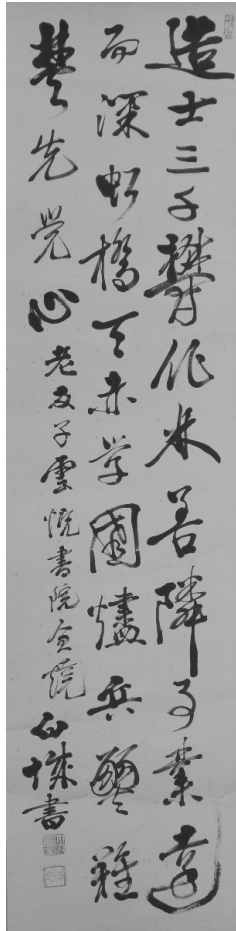
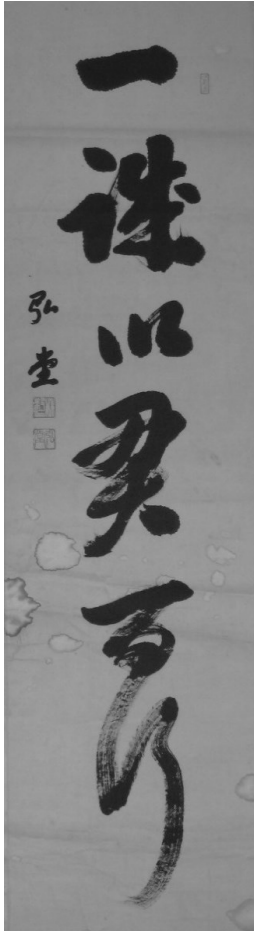
今回は、2015年度を中心に、2015年2月から2016年1月までの間に東亜同文書院大学記念センター（以下、「記念センター」と略記）に寄贈された資料の目録を掲載する。紙幅の関係上、一部分の資料のみの紹介になることを予めお断り申し上げておく。

有森茂生氏からは今年度も多くの資料を寄贈頂いた。林毅陸書（No.36-97）は林の号「弘堂」が記されていることが確認できる。林は1923（大正12）年から1933（昭和8）年まで慶応義塾長・慶応義塾大学総長を務め、また1936年には東亜同文書院（1939年大学に昇格）の経営母体である東亜同文会の理事に就任している。

敗戦直後の1946年、東亜同文書院大学最後の学長本間喜一の要請により愛知大学の初代学長に就任していることから、愛知大学にも関わりが深い人物の資料といえることができる。

また、東亜同文書院第6代院長で書院の大学昇格時に初代学長も務めた大内暢三書（No.36-108）も注目すべきものである。1917年以來の東亜同文書院虹橋路校舎（それ以前は桂野里校舎、赫司克而路仮校舎があった）は日中戦争による兵火で全焼する悲劇に見舞われたが、そうした状況を詠んだ書である。

末筆にある「白城」は大内の号である。また、「老友子雲」とあるが、「子雲」は白岩龍平（1870～1942年）の号である。白岩は現在の岡山県出身、尾張出身の荒尾精が上海に設立した日清貿易研究所（1890～93年）を卒業し、日清戦争後湖南汽船や日清汽船などを創設、実業家として活躍した。また、1898（明治31）年に近衛篤磨らとともに東亜同文会を立ち上げた一人であり、後には東亜同文会理事にも就任した。その近衛篤磨による国民同盟会勧請状も、彼の政治的活動を考える上でとても貴重な資



林毅陸書（No.36-97）大内暢三書（No.36-108）

料である (No.36-98)。

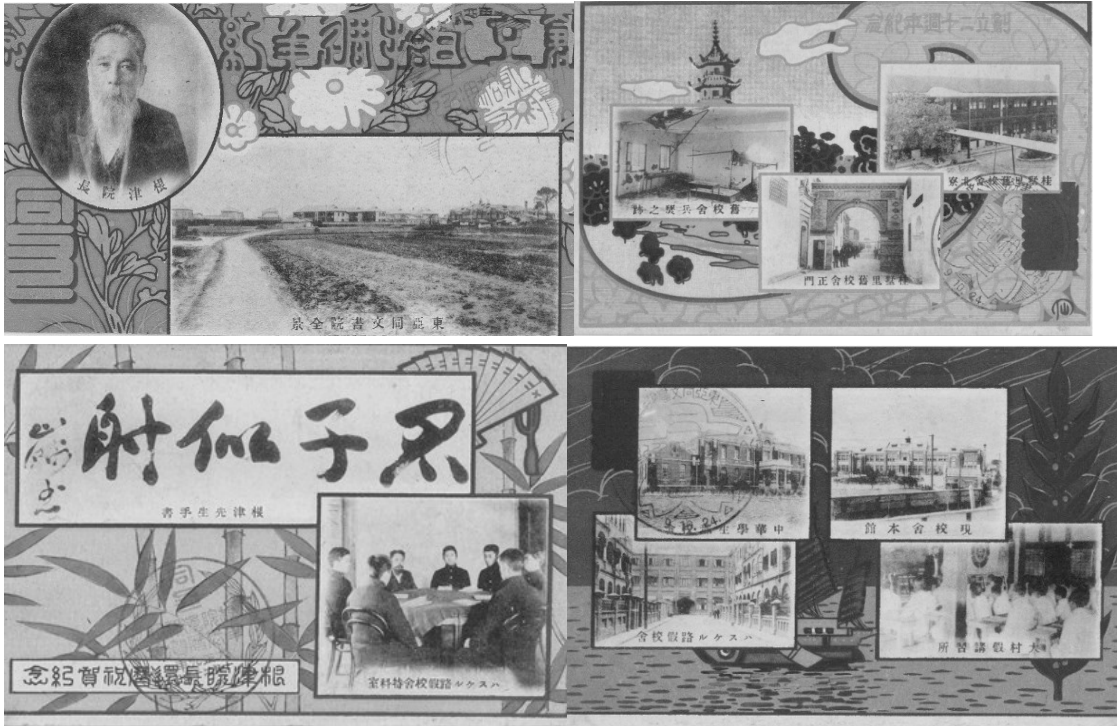
白岩龍平と同じく、岡山県出身の人物である岸田吟香の書 (No.36-105、106) はいずれも「明治丙申」とあることから、明治 29 年すなわち 1896 年に記された書であったことが分かる。岸田は幕末に目薬「精錡水」の製造販売を開始し、1875 年にその販売店として東京銀座に樂善堂を開設、1880 年上海にも樂善堂支店を設けた。荒尾精は 1886 年に中国 (当時は清国) へ渡った時に岸田を訪ねており、その後岸田の支援を受けるという形で関わりがあった。



岸田吟香書 (No.36-106)

ほかにも、東亜同文書院第 2 代院長を 1902 年から翌年にかけて務め、後に日本中学校校長に就任した杉浦重剛が晩年にしたための関東大震災を詠んだ書をはじめ、1926 年頃に上海の内山書店から九江 (江西省) の岡田有民にあてた図書紹介状、そして現在の愛知大学豊橋キャンパスに戦前置かれていた陸軍第十五師団司令部や陸軍教導学校に関する絵はがき、大正期にまとめられた豊橋市の渥美電鉄株式会社の設立趣意書に関する資料なども寄せられた (No.36-99~103、107)。他に、雑誌『太陽』8 冊 (第 2 巻 8、9、14、19、20、21、24 号 [以上 1896 年]、第 3 巻 1 号 [1897 年]) および戦前の古書目録『文献』(明治堂書店発行、1934 年分から同書店出張所発行) 10 冊も頂いた。

田中左千男氏(田中左内氏)からは、東亜同文書院 18 期農工科出身のご尊父田中左内氏が所有しておられた「東亜同文書院創立二十周年記念はがき」4 点 (No.66-1) をはじめとする、ご尊父に関する各種資料を寄贈頂いた。「東亜同文書院創立二十周年記念はがき」は、1901 (明治 34) 年に誕生した東亜同文書院初代校舎である桂墅里校舎から虹橋路校舎に至るまでの変遷を、校舎の写真などを用いて紹介している。なお、絵はがきにはスタンプが押されているが、なかには「9.10.24」という数字が明確に見えるものもある。これは「東亜同文書院創立二十周年記念式典」と同時に、東亜同文書院初代・第 3 代院長の根津一の還暦を祝う「根津院長還暦祝典」が開催された日付、すなわち「大正 9 (1920) 年 10 月 24 日」を示している。これらの式典や祝典には、黎元洪や梁啓超、岑春煊など当時の中国政界で活躍した人たちからも祝いの書が寄せられており、現在記念センターで管理されている。特に黎元洪「東亜同文書院創立二十年紀念 一道同風」は展示公開している (黎は同時に、「根津院長六十寿 寿考作人」の書もしたためており、昨年度記念センターはそのレプリカを作製した)。こうしたことから、内外の注目を大きく集めていたことが分かる。今回寄贈頂いた絵はがきのうち 1 枚は切り取られている部分があるが、これらはその時の華やかさを伺い知ることができる、極めて珍しく且つ貴重な資料である。



「東亜同文書院創立二十周年記念はがき」4点 (No.66-1)

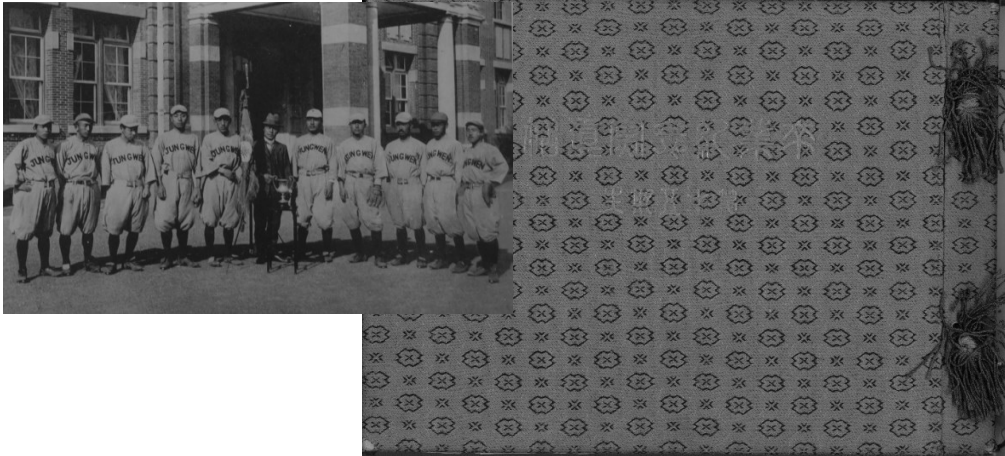


可児光治氏からは、絵はがき状に施された小岩井浄推薦大演説会のチラシ写真 (No.67-1) を寄贈頂いた。小岩井の肩書は「労働農民党公認 衆議院議員候補者」と記され、会場は「蕪崎青年会堂」となっている。1928 (昭和3)年2月に行われた衆議院議員総選挙に際しての演説会のチラシである。「蕪崎」はかつて愛媛県にあった村で、現在は四国中央市に含まれている。当時労働農民党書記長だった細迫兼光が愛媛県で小岩井の立候補を決めたことを示す資料である。

なお、小岩井は1942年より東亜同文書院大学に講師として勤務、戦争末期に教授となり、戦後は本間喜一らとともに愛知大学設立に関わった。愛知大学誕生後は、第3代学長を1955年から59年まで務めた。

小岩井浄推薦大演説会のチラシ写真 (No.67-1)

日暮英明氏からは東亜同文書院第 15 期生だったご尊父・日暮英二氏が所蔵されていた『卒業記念写真帖』(No.68-1)を寄贈頂いた。100 年近く前に作成されたものとは思えないほど保存状態は良く、当時の学校の様子や雰囲気をはっきりと知ることができる。写真資料の視角から東亜同文書院の歴史を捉える上でも、こうしたアルバムは貴重なものである。



『卒業記念写真帖』(No.68-1)

これらの資料は今回十分にご紹介できなかった分も含めて、今後大切に保管し、また活用させて頂く所存である。末筆になりましたが、資料を寄贈下さった方々に厚くお礼申し上げます。

【凡例】

- (1)以前に資料を頂いた方の資料番号は、通し番号として登録している。
- (2)歴史的な人物と位置付けられる人名については、資料紹介文ならびに目録では敬称略となっている。
- (3)漢字は全て常用漢字とした。
- (4)年号は基本的に西暦とした。ただし資料紹介文では元号と併記する形とした箇所もある。
- (5)目録中の「寄贈年月日」は資料が記念センターに寄贈された日、もしくは到着した日を示している。

<参考文献>

- 大町桂月・猪狩史山『杉浦重剛先生』(杉浦重剛先生顕彰会、1924年)、ただし思文閣出版、1986年の復刻版
- 加藤勝美『愛知大学を創った男たち』(愛知大学、2011年)
- 小岩井浄『随筆集 冬を凌ぐ』(ナウカ社、1935年)
- 『東亜同文書院大学史』(滙友会、1982年)
- 中村義『白岩龍平日記 アジア主義実業家の生涯』(研文出版、1999年)
- 中村義ら編『近代日中関係史人名辞典』(東京堂出版、2010年)
- 林毅陸『生立の記』(林喜八郎、1954年)

2015年2月～2016年1月 寄贈資料目録

No	日付	内容	差出人	受取人	寄贈者氏名	寄贈年月日
36	36-97	林毅陸書「一誠以貫百行」			有森茂生氏	2015年2月21日
	36-98	1900年10月 国民同盟会勸請状	近衛篤磨	奈良茂	同上	2015年2月24日
	36-99	絵はがき「(豊橋名勝)豊橋駅及吉田駅」			同上	2015年5月
	36-100	絵はがき「豊橋名所 第十五師団司令部」			同上	同上
	36-101	絵はがき「豊橋陸軍教導学校表門」			同上	同上
	36-102	1921年5月 『渥美電鉄株式会社 設立趣意書 起業目論見書 収支概算書 仮定款』(渥美電鉄株式会社創立事務所)			同上	同上
	36-103	1926年頃 図書紹介状(『東洋史講座』、『大美術講座』、『現代小説全集』の紹介と勧誘)	上海北四川路魏盛里695 内山書店	九江龍開河 大記公司 岡田有民	同上	同上
	36-104	在上海日本人の会社・丸福洋行の売り出し広告2点			同上	2015年6月26日
	36-105	1896年4月 岸田吟香書「朝爽閣」			同上	同上
	36-106	1896年4月 岸田吟香書「甲武信書屋」			同上	同上
	36-107	杉浦重剛による関東大震災を詠んだ書			同上	同上
	36-108	1937年頃 大内暢三による東亜同文書院が日中戦争で全焼したことを詠んだ書			同上	同上
66	66-1	1920年 「東亜同文書院創立二十周年記念」絵はがき4点			田中左千男氏(田中左内氏)	同上
	66-2	1938年、1967年 『会員名簿』(滬友同窓会、1938年)コピー、『東亜同文書院同窓会名簿』(滬友会、1967年)の第18期生分コピー			同上	同上
	66-3	『上海日本中学校会報』第15～19号(1996～2010年)に田中左千男氏が寄稿した文章のコピー、田中左内氏に関する東亜同文書院時代の写真5点(コピー写真)			同上	同上
67	67-1	1928年 小岩井浄推薦大演説会のチラシ写真(絵はがき状に施されたもの)			可児光治氏	2015年9月30日
68	68-1	1918年7月 『卒業記念写真帖』東亜同文書院第15期生			日暮英明氏	2015年11月10日

追登録

58	58-1	③東亜同文書院第21期生卒業アルバム			本田庸子氏	2013年6月10日
----	------	--------------------	--	--	-------	------------